

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】令和 7 年 6 月 23 日 (2025.6.23)

【公開番号】特開 2024-35302 (P2024-35302A)

【公開日】令和 6 年 3 月 14 日 (2024.3.14)

【年通号数】公開公報 (特許) 2024-048

【出願番号】特願 2022-139675 (P2022-139675)

【国際特許分類】

C 0 4 B 28/02 (2006.01)

C 0 4 B 24/06 (2006.01)

C 0 4 B 24/12 (2006.01)

C 0 4 B 24/26 (2006.01)

C 0 4 B 24/38 (2006.01)

10

【F I】

C 0 4 B 28/02

C 0 4 B 24/06 A

C 0 4 B 24/12 A

C 0 4 B 24/26 B

C 0 4 B 24/26 E

C 0 4 B 24/26 F

C 0 4 B 24/26 H

C 0 4 B 24/38 C

20

【手続補正書】

【提出日】令和 7 年 6 月 13 日 (2025.6.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記 (a) 成分、(b) 成分、(c) 成分、水硬性粉体、水、及び骨材を含有する水硬性組成物。

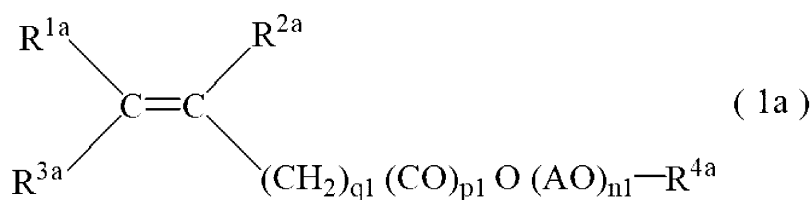
(a) 成分：下記一般式 (1a) で示される単量体 (1a) と、下記一般式 (2a) で示される単量体 (2a) とを構成単量体として含み、全構成単量体中の単量体 (2a) の平均割合が 60 モル % 以上 88 モル % 以下である、共重合体。

(b) 成分：増粘剤

(c) 成分：オキシカルボン酸又はその塩

40

【化 1】



【式中、

R^{1a}、R^{2a}：同一でも異なっても良く、水素原子又はメチル基

50

R^{3a} : 水素原子又は $-COO(AO)_{n1}X^1$

R^{4a} : 水素原子又は炭素数 1 以上 4 以下のアルキル基

AO : エチレンオキシ基及びプロピレンオキシ基から選ばれる基

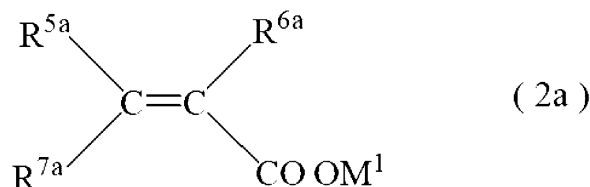
$n1$: AO の平均付加モル数であり、20 以上 130 以下の数

$q1$: 0 以上 2 以下の数

$p1$: 0 又は 1

を示す。]

【化 2】



10

〔式中、

R^{5a} 、 R^{6a} 、 R^{7a} : 同一でも異なっても良く、水素原子、メチル基又は $(CH_2)_rCOOM^2$ であり、 $(CH_2)_rCOOM^2$ は、 $COOM^1$ 又は他の $(CH_2)_rCOOM^2$ と無水物を形成していてもよく、その場合、それらの基の M^1 、 M^2 は存在しない。

20

M^1 、 M^2 : 同一でも異なっても良く、水素原子、アルカリ金属、アルカリ土類金属 (1 / 2 原子)、アンモニウム基、アルキルアンモニウム基、置換アルキルアンモニウム基、アルキル基、ヒドロアルキル基又はアルケニル基

r : 0 以上 2 以下の数

を示す。]

【請求項 2】

(a) 成分の全構成単量体中、単量体 (1a) の平均割合が 12 モル % 以上 40 モル % 以下である、請求項 1 に記載の水硬性組成物。

【請求項 3】

30

(c) 成分が、グルコン酸、酒石酸、クエン酸、及びこれらの塩から選ばれる 1 種以上である、請求項 1 又は 2 に記載の水硬性組成物。

【請求項 4】

(c) 成分を、水硬性粉体に対して、0.02 質量 % 以上 0.18 質量 % 以下含有する、請求項 1 又は 2 に記載の水硬性組成物。

【請求項 5】

(b) 成分が、(b1) アミノオキシド型界面活性剤及びアニオン性芳香族化合物、又は (b2) セルロース系増粘剤である、請求項 1 又は 2 に記載の水硬性組成物。

【請求項 6】

JIS A1150 に記載の方法で測定されるスランプフローが 50 cm に到達するまでの時間が 15 秒以上 45 秒以下である、請求項 1 又は 2 に記載の水硬性組成物。

40